

I216 計算量の理論と離散数学

平成 25 年度 III 期 (11 月 2 日 (土) ~ 12 月 21 日 (土))

担当: 上原 隆平(uehara@jaist.ac.jp) & 宮地 充子

本プリントの内容は、前半の上原の担当分に関するものだけです。

授業の形式:

- PowerPoint と板書を併用 (PowerPoint を示しながら重要なところは板書)
- レポートによる課題を 2 回出題。講義の中で解答と解説を示す。授業中に 3 分程度の演習を課すことがある。

講義曜日: 11 月 02 日 (土) 3 限 ~ 4 限
11 月 16 日 (土) 3 限 ~ 4 限
11 月 23 日 (土) 3 限 ~ 4 限
12 月 21 日 (土) 3 限 (中間試験)

シラバス: http://www.jaist.ac.jp/~gakusei/kyoumu/syllabi25/jpn/2013_1I216.html

講義補足用 Web ページ URL: <http://www.jaist.ac.jp/~uehara/course/2013/i216t/index.html>
(補講や休講などの情報が変更されることもあるので、チェックすること。)

評価方法 (前半分): 以下の割合で 50 点満点で採点

- (演習: 成績とは関係なし)
- レポート: 1 回 5 点満点
- 中間試験: 40 点満点

講義予定表:

月日	講義内容	レポート
11 月 02 日 (土)	講義 (1): 計算の基本要素	
11 月 02 日 (土)	講義 (2): 計算不可能性の証明と対角線論法	レポート (1) 出題
11 月 16 日 (土)	講義 (3): クラス NP	レポート (1) 締切
11 月 16 日 (土)	講義 (4): 計算量クラス間の関係	レポート (2) 出題
11 月 23 日 (土)	講義 (5): 多項式時間還元可能性	レポート (2) 締切
11 月 23 日 (土)	講義 (6): 多項式時間還元可能性にもとづく完全性	レポートの解答/解説
12 月 21 日 (土)	<u>中間試験</u>	レポート返却

レポートの予定:

- レポート (1): 配布は 11 月 02 日 (土) で締切は 11 月 16 日 (土) 13:30am .
- レポート (2): 配布は 11 月 16 日 (土) で締切は 11 月 23 日 (土) 13:30am .

解答とコメントは 11 月 23 日 (土) の後半に時間があれば。

その他:

- 急な出張による休講もありえるので、Web 上の最新情報を適宜チェックすること。